



2027年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月26日

上場会社名 信越ポリマー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7970

URL <https://www.shinpoly.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長
社長執行役員

（氏名） 出戸 利明

問合せ先責任者（役職名） 取締役 常務執行役員

（氏名） 小和田 収 （TEL）03(5288)8404

半期報告書提出予定日 2026年11月10日

配当支払開始予定日 2026年11月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	64,325	14.4	9,354	31.6	9,132	26.0	6,095	11.2
2026年3月期中間期	56,215	2.7	7,110	2.7	7,247	9.3	5,483	19.5

（注）包括利益 2027年3月期中間期 8,250百万円（262.2%） 2026年3月期中間期 2,277百万円（△77.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	75.79	75.14
2026年3月期中間期	68.12	67.72

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	162,808	135,470	82.9
2026年3月期	153,003	129,553	84.4

（参考）自己資本 2027年3月期中間期 134,909百万円 2026年3月期 129,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	32.00	62.00
2027年3月期	—	36.00			
2027年3月期（予想）			—	36.00	72.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※ 詳細は、本日（2026年10月26日）公表の「連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	127,000	10.3	18,200	29.6	18,000	28.5	11,800	19.2	146.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 詳細は、本日（2026年10月26日）公表の「連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(中間期)

2027年3月期中間期	82,623,376株	2026年3月期	82,623,376株
2027年3月期中間期	2,165,367株	2026年3月期	2,251,655株
2027年3月期中間期	80,423,200株	2026年3月期中間期	80,489,227株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会資料等の入手方法)

当社は、2026年11月6日(金)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明資料につきましては、開催日に当社URLに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫化やエネルギー価格上昇の影響を受けつつも、A I 関連需要を背景に緩やかな持ち直しが続きました。米国では個人消費や設備投資に支えられ景気は底堅く推移しました。欧州では景気は緩やかに回復しましたが、エネルギー価格上昇を受け、インフレ圧力が高まりました。中国では米国やアセアン等への輸出が増加した一方、不動産不況を背景に内需が低迷し、景気は弱い動きが続きました。インド及びアセアン地域では、景気は総じて堅調でしたが、エネルギー価格高騰による物価の上昇が先行きの懸念となりました。

日本経済は、半導体関連の設備投資や底堅い個人消費が景気を支え、緩やかに回復しました。

当社グループの関連する産業においては、半導体産業では、生成A I の普及を背景に、A I サーバー向けの設備投資が拡大し、メモリーを中心に半導体製品の需要が高水準で推移しました。自動車産業では、燃料価格を意識した需要を背景に、電動車の販売が拡大しました。中国及び欧州ではE V の普及が進展した一方、日本及び北米ではハイブリッド車を中心に電動化の動きが継続しました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に沿って基盤領域における拡販・合理化、成長領域における能力増強・新規テーマの探索に注力した事業活動を継続的に展開しました。また、今期において競争力の更なる向上を目的にM&Aを実行しました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は64,325百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益は9,354百万円(前年同期比31.6%増)、経常利益は9,132百万円(前年同期比26.0%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は6,095百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 電子デバイス事業

当事業では、ハイブリッド車の販売が堅調に推移したことから、車載入力デバイスの販売は前期を上回りました。また、車載用パッキンの需要が安定して推移し、電動化の進展に伴いE V バッテリー用延焼防止クッションの需要が大幅に伸長したことから、コンポーネント関連製品は前年同期を上回りました。

自動車産業以外では、液晶接続用コネクタやV C F (視野範囲・光路制御フィルム)は軟調に推移した一方、検査用コネクタは前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は13,186百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は676百万円(前年同期比4.7%増)となりました。

② 精密成形品事業

当事業では、半導体関連容器について、出荷容器及び工程内容容の需要が世界的に高い水準で推移しました。O A 機器用部品は、複合機用ローラの需要が安定して推移し、プリンター用ローラも回復基調となりました。キャリアテープ関連製品は、A I サーバー向け大型電子部品用途の好調が続き、微細電子部品用途の需要も高まったことから、前年同期を上回りました。シリコンゴム成形品は、カテーテル等医療機器向け部品の需要が増加しました。

この結果、当事業の売上高は34,028百万円(前年同期比16.6%増)、営業利益は6,727百万円(前年同期比21.9%増)となりました。

③ 住環境・生活資材事業

当事業では、ラッピングフィルムが引き続き拡大しました。また、機能性コンパウンドは半導体製造装置やF A 機器向け電線被覆用途の需要が高水準で推移しました。付加価値の高い独自製品の出荷が拡大したことから、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は12,077百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は1,632百万円(前年同期比109.0%増)となりました。

④ その他

その他の売上高は5,032百万円(前年同期比44.7%増)、営業利益は317百万円(前年同期比91.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が5,033百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3,514百万円、建設仮勘定が1,123百万円、原材料及び貯蔵品が817百万円、電子記録債権が763百万円それぞれ増加し、商品及び製品が751百万円、建物及び構築物(純額)が511百万円それぞれ減少したことなどにより、162,808百万円(前連結会計年度末比9,804百万円増)となりました。

当中間連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金が1,744百万円、未払法人税等が1,310百万円、未払金が982百万円それぞれ増加したことなどにより、27,337百万円(前連結会計年度末比3,887百万円増)となりました。

当中間連結会計期間末における純資産は、利益剰余金が3,523百万円増加したほか、主要な海外連結子会社の記帳通貨において前連結会計年度末と比較して円安となった結果、為替換算調整勘定が1,867百万円増加したことなどにより、135,470百万円(前連結会計年度末比5,917百万円増)となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.4%から82.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、最近の事業環境及び業績動向等を勘案し、2026年7月23日公表の連結業績予想を修正いたしました。詳細は、本日(2026年10月26日)公表の「連結業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,073	55,107
受取手形、売掛金及び契約資産	24,333	27,848
電子記録債権	3,610	4,374
商品及び製品	12,974	12,223
仕掛品	2,067	2,172
原材料及び貯蔵品	6,419	7,237
未収入金	2,121	1,804
その他	548	631
貸倒引当金	△186	△109
流動資産合計	101,964	111,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,939	26,427
機械装置及び運搬具(純額)	8,330	7,951
土地	6,849	6,861
建設仮勘定	2,816	3,940
その他(純額)	2,522	2,585
有形固定資産合計	47,459	47,766
無形固定資産		
ソフトウェア	715	608
その他	44	48
無形固定資産合計	760	657
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149	1,569
繰延税金資産	781	632
その他	888	892
投資その他の資産合計	2,820	3,093
固定資産合計	51,039	51,517
資産合計	153,003	162,808

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,638	12,383
電子記録債務	984	825
未払金	514	1,497
未払法人税等	1,680	2,990
未払費用	3,012	2,820
賞与引当金	1,579	1,778
役員賞与引当金	59	27
その他	1,497	1,602
流動負債合計	19,968	23,926
固定負債		
退職給付に係る負債	1,342	1,316
その他	2,139	2,094
固定負債合計	3,482	3,411
負債合計	23,450	27,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,635	11,635
資本剰余金	10,718	10,727
利益剰余金	95,795	99,318
自己株式	△3,017	△2,902
株主資本合計	115,132	118,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	529	817
為替換算調整勘定	13,474	15,342
退職給付に係る調整累計額	△30	△30
その他の包括利益累計額合計	13,974	16,129
新株予約権	446	561
純資産合計	129,553	135,470
負債純資産合計	153,003	162,808

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
売上高	56,215	64,325
売上原価	38,932	44,015
売上総利益	17,283	20,309
販売費及び一般管理費	10,173	10,955
営業利益	7,110	9,354
営業外収益		
受取利息	123	156
投資有価証券売却益	67	-
その他	99	117
営業外収益合計	290	274
営業外費用		
支払利息	19	20
為替差損	115	464
その他	18	11
営業外費用合計	153	496
経常利益	7,247	9,132
特別利益		
新株予約権戻入益	8	7
特別利益合計	8	7
特別損失		
業務委託契約解約損	-	49
特別損失合計	-	49
税金等調整前中間純利益	7,256	9,090
法人税、住民税及び事業税	1,876	2,961
法人税等調整額	△103	34
法人税等合計	1,773	2,995
中間純利益	5,483	6,095
親会社株主に帰属する中間純利益	5,483	6,095

中間連結包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
中間純利益	5,483	6,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	287
為替換算調整勘定	△3,245	1,867
退職給付に係る調整額	2	△0
その他の包括利益合計	△3,205	2,155
中間包括利益	2,277	8,250
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,277	8,250

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	7,256	9,090
減価償却費	3,112	2,650
のれん償却額	38	-
受取利息及び受取配当金	△155	△191
支払利息	19	20
為替差損益(△は益)	31	353
投資有価証券売却損益(△は益)	△67	-
売上債権の増減額(△は増加)	△824	△3,714
棚卸資産の増減額(△は増加)	497	140
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,432	1,270
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△45	△27
未払又は未収消費税等の増減額	1,488	323
その他	356	134
小計	10,275	10,050
利息及び配当金の受取額	163	199
利息の支払額	△18	△20
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,672	△1,565
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,748	8,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△268	△3,064
有形固定資産の取得による支出	△2,343	△1,612
無形固定資産の取得による支出	△142	△29
その他	199	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,554	△4,735
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△2,170	△2,572
自己株式の売却による収入	172	107
その他	△204	△204
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,201	△2,669
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,649	569
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,342	1,827
現金及び現金同等物の期首残高	42,736	47,013
現金及び現金同等物の中間期末残高	44,078	48,841

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,679	29,185	10,874	52,739	3,476	56,215
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	12,679	29,185	10,874	52,739	3,476	56,215
セグメント利益(営業利益)	646	5,516	781	6,944	166	7,110

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。

当中間連結会計期間(自 2026年4月1日 至 2026年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	中間連結 損益計算書 計上額
	電子デバイス	精密成形品	住環境・ 生活資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,186	34,028	12,077	59,293	5,032	64,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,186	34,028	12,077	59,293	5,032	64,325
セグメント利益(営業利益)	676	6,727	1,632	9,036	317	9,354

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事関連事業などを含んでおります。